

## 平成27年度第3回資金管理委員会議事録要約

- ◆ 開催日時 平成28年 3月22日(火) 13時00分～14時50分
- ◆ 開催場所 兵庫県庁2号館
- ◆ 出席者(会長◎)
  - ◎ 甲斐 良隆 関西学院大学大学院経営戦略研究科教授
  - 佐竹 隆幸 兵庫県立大学大学院経営研究科教授
  - 藤原 賢哉 神戸大学大学院経営学研究科教授
  - 安田 稔 格付投資情報センター格付本部副本部長
  - 米田 小百合 公認会計士

### 1 県の資金運用・調達の実績及び計画について

- 将来の金利環境は、来年度の消費増税の実施可否に伴う、海外投資家の日本への評価や、日銀による国債引受の期間により大きく左右されるため、運用・調達ともこの点に留意しながらの対応が必要である。

#### 【平成27年度資金運用実績・平成28年度資金運用計画(案)】

- 現在はこれだけ金利水準が低いので、わずかの差のために長期固定による金利リスクを取ることは避けた方がよい。

#### 【平成27年度県債発行実績・平成28年度県債発行方針(案)】

- 住民参加型市場公募債は、金額的にインパクトがあるものではないが、県民が県政を理解し、金融に触れるひとつのシンボルでもあるので、続けることが望ましい。
- 地元の金融機関育成の観点からは、必要な対象に限り、変動金利調達への配慮も一定必要だと考えられる。
- 県債購入に際して、将来負担比率を大きな判断材料としている投資家も見られるので、行財政改革の着実な取組と成果を示していくことが必要である。
- 従来から、年限と金利のトレードオフの関係と、将来における金利上昇リスクを踏まえ、適時適切な発行年限の設定に努めているが、H28年度においても、引き続き強く意識していくことが求められる。
- 市場環境が大きく変化する可能性があるため、来年度は様々な投資家との接点を確保しながら、それぞれの投資家のニーズに応じた商品を提供できるよう、柔軟かつ機敏に行動することが望まれる。

### 2 関連公社等の保有する指針不適合商品に係る中長期的な管理計画について

- 現在の市況が処分のチャンスだと情報を与えた上で、きちんと処分ルールを定めさせることが必要である。
- H28年度第1回委員会で科学技術協会のヒアリングを実施することとしたい。